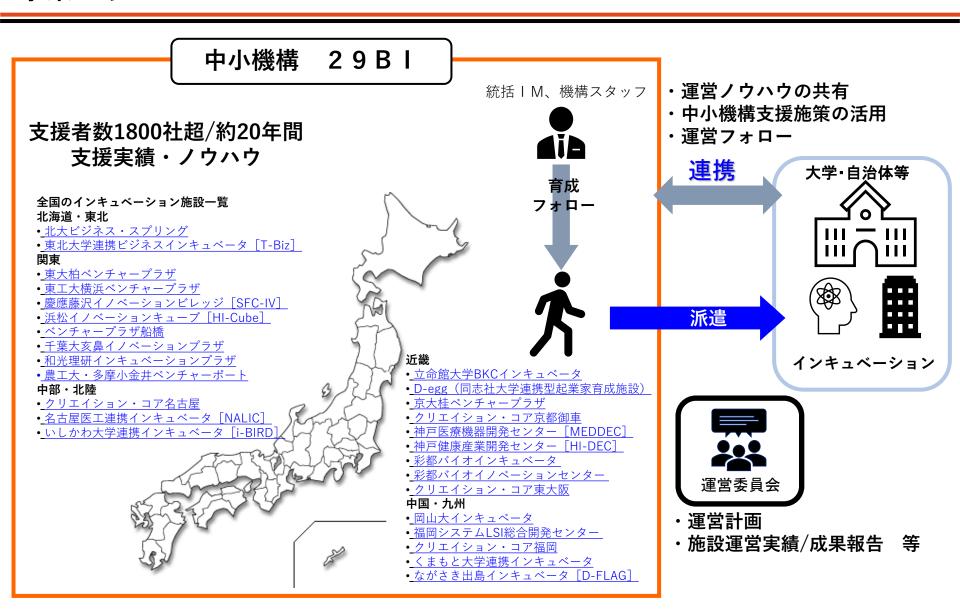


インキュベーションプログラム強化・発展事業

2023年4月 独立行政法人中小企業基盤整備機構

本事業の目的・趣旨

- ○独立行政法人中小企業基盤整備機構(以下、「中小機構」という。)は、2000年代前半より、全国の自治体からの要請に基づき、全国でインキュベーション施設を整備し、大学連携型インキュベーション施設等のインキュベーション事業を実施しています。(現在、29施設運営中。累計で33施設を運営)
- ○各インキュベーション施設は、一部施設を除き、施設にインキュベーションマネージャー(IM)を配置し、IMが入居企業(スタートアップ等)の様々な経営課題の解決を伴走支援し、企業の成長戦略の初期段階を手厚く支援することで、数多くのスタートアップ等のステージアップ、地域への輩出を図ってきました。
- 〇「インキュベーションプログラム強化・発展事業」は、大学や自治体等が運営するインキュベーション施設にIMを派遣することにより、これまで中小機構が実施してきたインキュベーション事業でのソフト支援(研究シーズ〜起業〜事業化)ノウハウ等を、共有・実践することにより、大学や自治体等によるインキュベーション事業の運営が更に円滑に進み、スタートアップの成長に寄与することを目的とします。



参考 中小機構インキュベーション事業 中小機構インキュベーション事業活動報告

https://www.smrj.go.jp/incubation/index.html https://www.smrj.go.jp/ebook/incubation report 13/#page=1